

第2回 「日本語教育と音声」研究会

日時： 2004年11月13日 土曜日 13:00~17:00
会場： 早稲田大学 西早稲田キャンパス 22号館 2階 203教室
(地図はこちらです。 <http://www.waseda.jp/jp/campus/index.html>)
参加費： 無料
問い合わせ先： 音声言語コミュニケーション研究室 木下・許
E-mail：木下 naoko-k@boreas.dti.ne.jp 許 naegerojpn@yahoo.co.jp

*事前申込みは不要です。どなたでもご参加いただけます。



§ 基調講演 §

☆ 「音声教育の研究と実践」

講師： 鮎澤 孝子先生 (国際教養大学・教授)

米国アイオワ大学、ハワイ大学、鹿児島大学、国立国語研究所、東京外国語大学を経て、現職は国際教養大学教授。
主な著書・論文に「日本語学習者にとっての東京語アクセント」『月刊言語』(1998)、「中間言語研究—日本語学習者の音声」『音声研究』(1999)、「外国人学習者の日本語アクセント・イントネーション習得」『音声研究』(2003)などがある。

§ 研究発表 §

☆ 「ロシア語を母語とする日本語学習者のイントネーション」

サヨーラ・マフカモヴァ (早稲田大学大学院日本語教育研究科・修士課程修了生)

☆ 「上級学習者を対象としたプロソディー教育の実践」

中川千恵子 (早稲田大学日本語研究教育センター・客員講師)

§ 情報交換コーナー §

日頃から疑問に思っていること、例えば、「学習者の発音が気になることがあるが、どのように指導したらよいか」「音声関係の研究をしてみたいが、テーマをどのように決めたらよいか」など、参加者の質問を受け、一緒に考えていきます。

「日本語教育と音声」研究会

趣旨：コミュニケーションにおいて音声果たす役割について理解を深め、日本語音声教育の発展に寄与することを目的とする。

- 1) 音声研究・音声教育の分野における最新の研究動向を学ぶ。
- 2) 音声研究・音声教育に関心のある参加者に意見交換の場を提供する。
- 3) 理論と実践の両輪を備えた研究基盤を構築していく。